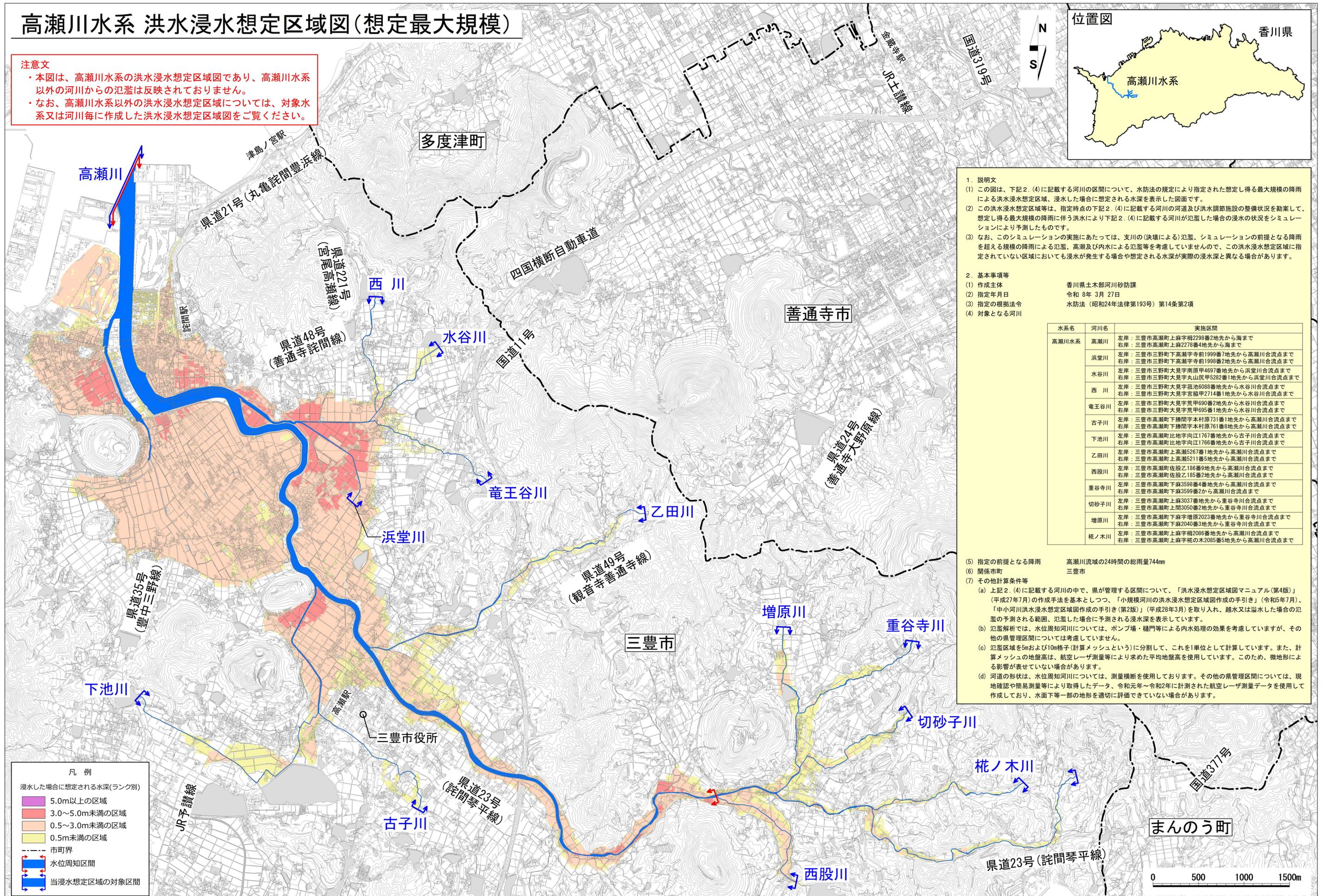


高瀬川水系 洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

注意文

- ・本図は、高瀬川水系の洪水浸水想定区域図であり、高瀬川水系以外の河川からの氾濫は反映されておりません。
- ・なお、高瀬川水系以外の洪水浸水想定区域については、対象水系又は河川毎に作成した洪水浸水想定区域図をご覧ください。



1. 説明文

- (1) この図は、下記2.(4)に記載する河川の区間について、水防法の規定により指定された想定し得る最大規模の降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域等は、指定時点の下記2.(4)に記載する河川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により下記2.(4)に記載する河川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等

(1) 作成主体	香川県土木部河川砂防課
(2) 指定年月日	令和8年3月27日
(3) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(4) 対象となる河川	

水系名	河川名	実施区間
高瀬川水系	高瀬川	左岸: 三豊市高瀬町上麻字榎229番2地先から海まで 右岸: 三豊市高瀬町上麻字榎227番4地先から海まで
	浜堂川	左岸: 三豊市三野町下高瀬字寺前1999番7地先から高瀬川合流点まで 右岸: 三豊市三野町下高瀬字寺前1998番2地先から高瀬川合流点まで
水谷川	水谷川	左岸: 三豊市三野町大見字南原甲4697番地先から水谷川合流点まで 右岸: 三豊市三野町大見字丸山尻甲5282番1地先から水谷川合流点まで
	西川	左岸: 三豊市三野町大見字菰池6088番地先から水谷川合流点まで 右岸: 三豊市三野町大見字宮脇甲2714番1地先から水谷川合流点まで
竜王谷川	竜王谷川	左岸: 三豊市三野町大見字荒甲690番2地先から水谷川合流点まで 右岸: 三豊市三野町大見字荒甲695番1地先から水谷川合流点まで
	古子川	左岸: 三豊市高瀬町下勝間字本村原731番1地先から高瀬川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町下勝間字本村原761番8地先から高瀬川合流点まで
下池川	下池川	左岸: 三豊市高瀬町比地字向江1767番地先から古子川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町比地字向江1766番地先から古子川合流点まで
	乙田川	左岸: 三豊市高瀬町上高瀬5267番1地先から高瀬川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町上高瀬5211番5地先から高瀬川合流点まで
西股川	西股川	左岸: 三豊市高瀬町佐股乙186番9地先から高瀬川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町佐股乙185番2地先から高瀬川合流点まで
	重谷寺川	左岸: 三豊市高瀬町下麻3598番4番地先から高瀬川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町下麻3599番2から高瀬川合流点まで
切砂子川	切砂子川	左岸: 三豊市高瀬町上麻3037番地先から重谷寺川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町上麻3050番2地先から重谷寺川合流点まで
	増原川	左岸: 三豊市高瀬町下麻字増原2023番地先から重谷寺川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町下麻2040番3地先から重谷寺川合流点まで
榎ノ木川	榎ノ木川	左岸: 三豊市高瀬町上麻字榎2086番地先から高瀬川合流点まで 右岸: 三豊市高瀬町上麻字榎2085番5地先から高瀬川合流点まで

(5) 指定の前提となる降雨: 高瀬川流域の24時間の総雨量74mm

(6) 関係市町: 三豊市

(7) その他計算条件等

(a) 上記2.(4)に記載する河川の中で、県が管理する区間について、「洪水浸水想定区域図マニュアル(第4版)」(平成27年7月)の作成手法を基本としつつ、「小規模河川の洪水浸水想定区域図作成の手引き」(令和5年7月)、「中小河川洪水浸水想定区域図作成の手引き(第2版)」(平成28年3月)を取り入れ、越水又は溢水した場合の氾濫の予測される範囲、氾濫した場合に予測される浸水深を表示しています。

(b) 氾濫解析では、水位周知河川については、ポンプ場・樋門等による内水処理の効果を考慮していますが、その他の県管理区間については考慮していません。

(c) 氾濫区域を5mおよび10m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザ測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

(d) 河道の形状は、水位周知河川については、測量横断を使用しております。その他の県管理区間については、現地確認や簡易測量等により取得したデータ、令和元年~令和2年に計測された航空レーザ測量データを使用して作成しており、水面下等一部の地形を適切に評価できていない場合があります。

凡例

浸水した場合に想定される水深(ランク別)

- 5.0m以上の区域
- 3.0~5.0m未満の区域
- 0.5~3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域

--- 市町界

--- 水位周知区間

--- 当浸水想定区域の対象区間

